

議会報告会 会場報告書

担当班： 第2班 班代表者：上田 英樹

概 要			
地区名 : 西紀北地区 日時 : 令和5年5月15日(月) 19:00~:21:00 場所 : しゃくなげ会館 参加人数 : 12人(男12人・女0人)	【出席議員】 上田、森本、 園田、原田、 齋藤、堀毛	(1) 開会あいさつ : 上田英樹 (2) 議会報告 : 原田豊彦 (3) 質疑応答 : 各自 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ :	挨拶・総括 : 上田英樹 司会進行 : 森本富夫 報告 : 原田豊彦 記録 : 齋藤泰博 堀毛宏章 会場(マイク) : 園田依子

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
①本年1月17日に可決された「出産・子育て応援交付金」は、申請しなくても、もれなく支給されるのか？	国の制度による交付金で、令和4年4月1日以降の妊娠・出産が対象です。申請がなくても対象の方全員に支給される仕組みになっています。市の直近の年間出生数は210人で、この国からの10万円と市独自の10万円、計20万円となります。 市としても出生対策にしっかり取り組んでいきたいと思っています。
②師走会議でのコロナ対策補正予算は約1億8千万だが、これまで3年間で国からのコロナ対策の累計額は20億円と聞いたことがある。実際の交付額は？	約19億円です。この3年間で主なものは、コロナワクチン接種や休業補償などの経済対策となっています。
③弥生会議で可決された約5億円の「今田こども園整備事業」だが、市内にはこれまで、味間や多紀など、こども園が次々出来ている。次は西紀の番だと思ふ。是非予算を付けていただくように要望する。	

質疑・意見（第二部 意見交換会：担い手不足について）	回 答
<p>①川阪の現状は、戸数 19 戸（内、空き家 3 戸）、自治会外 5 戸、別荘 5 戸で、人数は、自治会員 31 人、自治会外 10 人である。平均年齢は、推計ではあるが 69 歳。令和 4 年のアンケート調査では、農業後継者があると答えたのは 2 人で、あとは後継者がいない、また分からないと回答があった。</p>	<p>どの集落でも、減少が進んでいるか、やや進んでいるかの違いぐらいで、いずれにしても厳しい状況にあると認識しています。 同じ地域に住む者として私の自治会では最低限、圃場整備された田んぼは守っていききたいというのが基本スタンスです。</p>
<p>②桑原の現状は、限界集落に近づいており、多分 2 年後にはそうなる。農地の荒廃が進んでいる。荒廃を止める施策を考えて欲しい。例えば、太陽光発電は農業ではないが、農地の荒廃対策にはなる。導入しやすくなるよう補助金と条例についても検討してほしい。</p>	<p>荒廃を食い止めるため、個人的には、水稻ではなく、栗やみかんなどの果樹を育てることによって農地の有効活用を図っていききたいと考えています。特に山あいの農地は、補助メニューが少ないので、何らかの対策が必要だと考えています。</p>
<p>③市には、これといった人口増のための施策があるのか？市の東部地域から味間地区への流入などにより人口の増えているところもあるが、山村部の担い手は不足していて何も手が打たれていない。 さらに、今回の市職員の定年延長は、職員の地域の担い手としての期待を先に延ばしてしまう結果になる。 また、大規模農家には手厚い保護があるが、個人農家にはない。営農への支援をお願いしたいが、大型機械の買い替えなどでも、申請手続きが大変複雑で面倒、申請の手続きを手伝ってくれる人が必要だ。</p>	<p>昨年の議会報告会以降に人口減少問題で様々な議論をした内容が今回の報告には入っておらず、このことはお詫びしたいと思います。 営農について個人への補助はありませんが、3 戸以上集まれば補助対象となるメニューがあります。 大型農家対策だけでは丹波篠山の農業は守れないということは議会から何度も市に伝えていますが、しかし、個人農家を対象に補助メニューを作ると予算がいくらあっても足りません。そこで、3 戸以上の農家が集まれば、農機具購入の 20%を補助する制度が令和 5 年度からスタートするので利用いただきたいと思います。 関係人口、交流人口の増加対策としては、例えば、ワクワク農村プランでは、一集落での既存や新規の取り組みに対し 10 万円を補助する制度が今年度から予定され、80 集落分の予算が計上されています。 私の地元では集落営農が 5～6 年目を迎えていますが、最近はいろんな作物にチャレンジしていて、近隣の若い人が興味を持って組合に加入するなど新しい動きも出てきています。 人口減については、古市校区は阪神間に一番近い位置にありながら人口が減少しています。地域の差し迫った課題は地域によって違いがありますので、議会としても地域の皆さんに寄り添って対策を一緒に考える必要があると考えています。 先ほど指摘されたように、東部地域の減少の一方で味間地区が増え</p>

	<p>ています。人口の自然減は年間 400 人ほどと非常に大きいものです。流入人口の増加には特に力を入れたいと思っており、いずれにしても人口対策は一丁目一番地だと考えています。</p>
<p>④市の東部地域と西紀北地区は重点施策対象になっているような優遇措置が受けられる。交通費の補助などは良いと思うが、家を建てるなどの場合は、今後、制度を改善して欲しい。</p> <p>例えば、最近では、地域以外から若い家族が古民家を改修してそこに住みたいという希望が増えているようだが、古民家改修には大きな費用が要る。私たちの地域としても子育て世帯に来てもらいたい。重点施策もそのような希望に対応できるよう改善し、もっと利用しやすくして欲しい。</p>	<p>旧多紀町、旧城東町と西紀北地区は、定住促進重点地区に指定されていて、今年度の骨格予算にも計上されています。ご要望については今後検討していきたいと思っています。</p>
<p>⑤教育委員会は、これまで年次計画で小中学校の改修工事を実施されてきた。しかし、西紀中学については 900 万円の工事が平成 29 年に行われただけである。一方、昨年度の篠山中学改修工事には 2 億の予算が付いた。新築から 15 年しか経ってないのに。中学校によって差別があってはならない。西紀中学の現状は、雨漏り対策など早急な修繕が必要だ。前の改修工事できちんと処置出来てないから問題箇所が残っている。</p> <p>⑥西紀トンネル内の照度を明るくして欲しいが、どうなっているのか？</p>	<p>昨年度、西紀中学校の大規模改修設計が出来ています。</p> <p>これまでの改修は必要に応じて予算化されているため、差別はありません。大改修は一巡しましたが、当然、次の改修についても要望が出てくるので対処していきたいと考えています。</p> <p>トンネルについては、照度を調査してから規格に応じた対応をしていくと聞いています。</p>
<p>⑦担い手不足対策には次の 4 点が挙げられる。</p> <p>1. 他地域からの協力を求める。 2. 自力で頑張る。 3. 機械などを使って対応する。 4. 止めちゃう。</p> <p>他に協力を求める場合、何をしてもらおうのか、例えば、若い人に草刈りをさせるのは日本の将来にとっても余り良いことではない。また、丹波篠山市がどういう方向を向いて進んで行こうとしているのか、明確なビジョンの提示が必要だ。私の子供が多紀子ども園に通っているが、建物もスタッフの皆さんもとても良くてラッキーだったと思っている。</p> <p>通って見ないと解らないのは残念だ。若い人の流入について、篠山が他市との差別化を図るなら、篠山の保育はこうですよという、おかあさん方に支持される特色を打ち出さないとなかなか集まらないと思う。国からの補助金</p>	<p>議会としても同感です。何事もビジョンが大事で、保育にしろ、一般の政策にしろ、的確なビジョンを持ち、多くの市民の皆さんと情報や思いを共有し施策を進めていくことが重要であると思っています。</p>

メニューは各市とも大きな差はない。施策も同様である。

今、若い人たちはいろんな新しい取り組みを行っている。議会の皆さんは、それらの取り組みにアンテナを張り、政務調査費を使って情報等を収集し、良いものは積極的に吸収していく姿勢が必要だと思う。